

カーボンニュートラル対策の現状とその先

～地域企業の取組み事例紹介～



脱炭素化の流れが世界的な広がりを見せる一方、温暖化には加速傾向が見られるなど楽観視できる状況にはありません。製造業者においても、再エネの利用拡大や省エネの推進など横並びの対策から一歩進み、リサイクル率の向上や低カーボンフットプリント製品の開発など、各企業の技術力が試される段階にきています。本講演会では、第一線で活躍される講師をお招きし、めっき業界を筆頭とした地域製造業者の脱炭素化に向けた様々なチャレンジをご紹介します。皆様の技術開発のヒントになればと期待しておりますので、奮ってご参加ください。

日時 2025年 **1月21日(火)**
13時30分～16時10分

会場 名古屋市工業研究所
第2会議室
名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
名古屋市工業研究所 管理棟4階

開会挨拶 13:30～13:35 主催者挨拶

講演 1 13:35～14:35

「生産現場の脱炭素に向けた取り組み」

日刊工業新聞社
執行役員名古屋支社長

大崎 弘江 氏



生産現場では、再生可能エネルギーの利用、エネルギー効率の向上、廃棄物の削減などを通じて、脱炭素化が進められています。中堅・中小企業の事例から、自社で何をやるべきかを考えます。

講演 2 14:50～15:50

「カーボンニュートラル実現に向けためっき工程の取組み」

～洗浄剤・パクナCNシリーズのご紹介～

ユケン工業株式会社
化学品事業部技術・開発課
スペシャリスト

辻 匡佑 氏



亜鉛めっき工程内から排出されるCO2を可視化する方法と、その結果についてご説明します。また、その結果を踏まえながら、カーボンニュートラルへ貢献するために開発を進めた洗浄剤をご紹介します。

講演 3 15:50～16:10 名古屋市工業研究所における取組の紹介

材料技術部 表面技術研究室 研究員 **松村大植**

主催：名古屋市工業研究所

協賛：愛知県鍍金工業組合、(一社)表面技術協会中部支部、(公社)自動車技術会中部支部、(一社)中部日本プラスチック製品工業協会、愛知県プラスチック成形工業組合、中部プラスチック金型協同組合

カーボンニュートラル対策の現状とその先

～地域企業の取組み事例紹介～



参加費

無料

定員

80名

申込期限

2025年1月14日(火)

申込方法

申込フォームまたは電子メールでお申込みください。

申込フォーム

右記二次元コードまたはURLよりお申込みください。

URL <https://forms.gle/v17rhZfVdptqDhfAA>



電子メール

①企業・組織名 ②住所 ③所属・役職 ④氏名 ⑤E-mail ⑥電話番号
⑦メールマガジン「NMIRI 技術ニュース」(月1回、工業研究所のイベント情報等を配信)の【配信を希望する/希望しない/登録済み】
を記入のうえ、下記の申込先までご送付ください。

※参加証は発行いたしませんので、
こちらからお断りの連絡がない限り直接会場にお越しください。

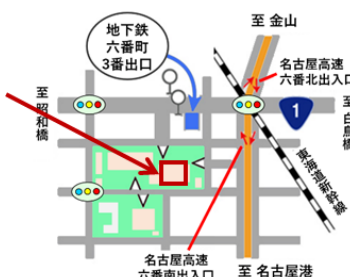
お申込み
お問合せ

(公財)名古屋産業振興公社 産業連携推進部 産業連携推進課
E-mail: carbon@nipc.or.jp
TEL:052-890-3832

会場について

名古屋市工業研究所 管理棟4F第2会議室

名古屋市営地下鉄 名港線『六番町』下車、
3番出口より徒歩2分



アクセスマップ

※ご記入いただきました個人情報は本講演の運営および主催者が開催するイベントのご案内に必要なとされる範囲で利用させていただきますが、主催者、事務局、講師以外の第三者への提供は行いません。